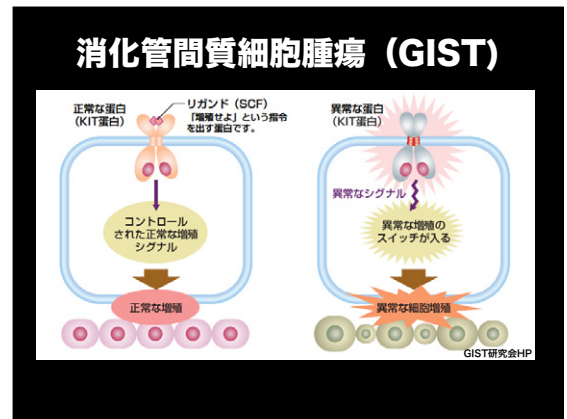




ヒトGIST

- 70%で胃に発生
- c-kit遺伝子変異がある
とより悪性の挙動

エクソン11

GIST研究会HPより

J Lasota et al. Clinical significance of oncogenic KIT and PDGFR mutations in gastrointestinal stromal tumours. Histopathology 53:245-264(2008)
Taniguchi M et al. Effect of c-kit mutation on prognosis of gastrointestinal stromal tumors. Cancer Res 59:4297-4301(1999)

イヌのGIST

- 1997年から犬での病理学的側面からの報告
- 過去の診断を免疫染色にて再評価
- KIT蛋白発現の有無が診断基準
- 臨床的特徴に関する報告は少ない

R.G. LaBock et al. Immunohistochemical Staining Characteristics of Canine Gastrointestinal Stromal Tumors. Vet Pathol 34:303-311(1997)

症例

- 2009年1月から2011年4月までに日本動物高度医療センターを受診し、GISTと病理学的に診断された14症例
- 犬種 G.レトリバー (5頭)、ミニチュアダックスフント、柴犬 (各2頭)、S.ブードル、A.C.スパニエル、キャバリア、ヨークシャー・テリア、雑種 (各1頭)
- 雄雌各7頭 (未去勢未避妊各1頭)
- 平均年齢10.5歳 (6歳～13歳)

臨床徴候

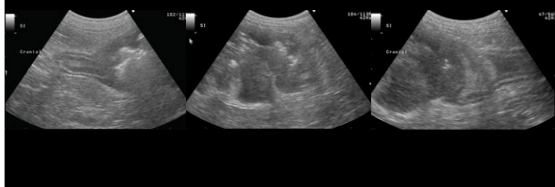
- 臨床徴候あり (11/14)
 - 消化器徴候 (嘔吐・下痢・腹痛など) (4)
 - 腫瘍からの出血による貧血・下血 (3)
 - 腹囲膨満 (腹腔内巨大腫瘍) (4)
- 臨床徴候なし (偶発) (3/14)

画像診断：超音波検査

- 発生部位が特定できた例 (7/11)

小腸 6 例

盲腸 1 例



画像診断：超音波検査

- 発生部位が特定できなかった例 (4/11)

小腸→盲腸発生 (2)

脾臓→盲腸発生 (1)

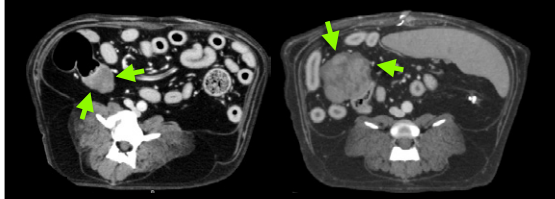
由来不明→空腸発生 (1)



画像診断：CT検査

- 発生部位を特定できた例 (2/5)

盲腸部外側 (2)



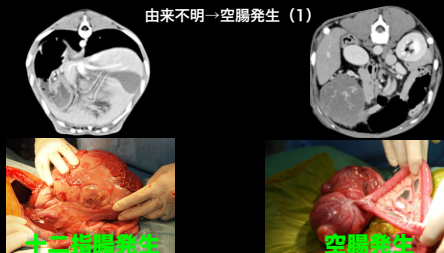
画像診断：CT検査

- 発生部位を特定できなかった例

小腸→盲腸発生 (1)

肝臓→十二指腸発生 (1)

由来不明→空腸発生 (1)



術前生検・c-kit遺伝子変異

1. 術前生検 (10/14)

- 非上皮性悪性腫瘍 (5)
- 化膿性炎症 (2)
- 腺癌 (1)
- リンパ腫 (1)
- 不明 (1)

2. c-kit遺伝子変異 (14/14)

- 変異あり (3)
- 変異なし (11)

治療

- 外科治療 (13/14)

完全切除 (6)

漿膜浸潤 (3)

転移・播種 (4)

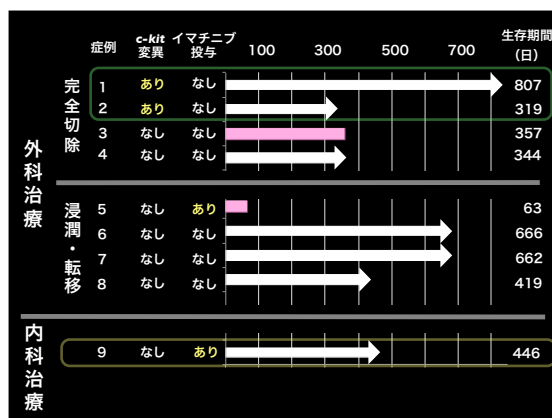
うち2例で術後内科治療 (メシル酸イマチニブ)

- 内科治療 (メシル酸イマチニブ) (1/14)

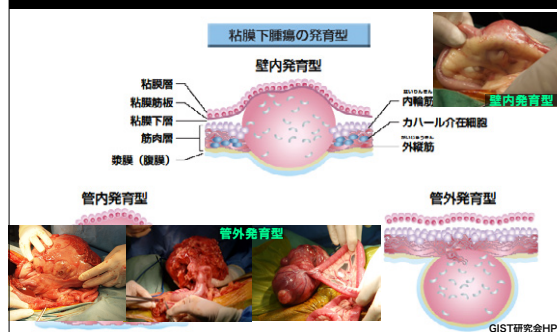


予後

- 2009年1月から2010年5月に来院した11例のうち、他疾患が死亡原因であることが明らかな2例を除外した9例



考察1



考察2

- 腫瘍の播種や転移などは、直接予後とは関係していないと考えられる
- ヒトで予後因子とされるc-kit遺伝子変異は直接予後とは関係していないと考えられる

謝辞 (敬称略)

東京大学大学院獣医学研究科病理学教室

内田和幸 鈴木聡

ノースラボ 賀川由美子

D-LAB 佐藤倫子

日本動物高度医療センター 消化器泌尿器科